



- ①表門前駐車場
- ②好文亭表門駐車場
- ③常盤神社駐車場
- ④偕楽園下駐車場
- ⑤千波湖西駐車場
- ⑥桜山第一駐車場
- ⑦桜山第二駐車場
- ⑧桜山第三駐車場
- ⑨桜川駐車場

本園のご案内

エリア	2月中旬頃～9月30日	10月1日～2月中旬頃
偕楽園本園	午前6時～午後7時	午前7時～午後6時
好文亭	午前9時～午後5時 (入館は午後4時45分まで)	午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時15分まで)

※12月29日～12月31日は好文亭は休館

※開園から午前9時までは無料

※偕楽園(本園)・歴史館エリアは、犬等ペットを連れての入園は不可

入園料 偕楽園本園

個人	大人	320円
	小人	160円
	満70歳以上	160円
団体	大人	240円
	小人	130円

※団体は20名以上 ※小人は小中学生

※好文亭入館料は別途

スムーズに入園できる
電子チケットを販売中
です。

ぜひご購入ください▶



■アクセスマップ



- ・常盤自動車道…水戸IC(50号バイパス経由)／約20分
- ・北関東自動車道…茨城東IC・水戸南IC／約20分
- ・バス…常盤線水戸駅(北口バス乗り場④⑥)／約20分
- 表門④「好文亭表門入口」下車／徒歩6、7分
- 東門④「偕楽園東門」「偕楽園・常盤神社前」下車／徒歩2、3分
- ⑥「偕楽園」下車／徒歩5分

偕楽園ガイドマップ KAIRAKUEN GUIDEMAP

- 案内所
- 多目的お手洗
- 自動体外式除細動器(AED)
- バス乗り場
- タクシー乗り場
- エレベーター
- お手洗
- 博物館
- 駐車場
- 駐輪場
- 飲食店



JAPAN HERITAGE
日本遺産

時宗、弘道親を
はじめとする水戸
市街にあり、
近世日本の教育道
徳義は、平成27年
に「日本遺産」に
認定されました。

偕楽園は、金沢の兼六園、岡山の後楽園と並ぶ「日本三名園」のひとつで、
天保13年(1842年)に水戸藩第九代藩主徳川斉昭が領内の民と偕に楽しむ
場にしたと願い創設しました。
園内には約100品種3,000本の梅が植えられており、
早春には多くの観光客で賑わいます。
偕楽園は梅の名所として有名ですが、その他にも四季折々の見所があり、
春には桜、初夏には深紅のキリシマツツジ、真夏には緑豊かな
孟宗竹林と大杉森、秋には可憐な萩の花やモミジが見られます。
好文亭の三階築山や仙奕台から眼下に広がる
千波湖を望む景観は絶景です。

偕楽園公園センター

〒310-0912 水戸市見川 1-1251

TEL.029-244-5454 FAX.029-244-5866

好文亭(料金所) TEL.029-221-6570 見晴亭(売店) TEL.029-306-8911

<https://ibaraki-kairakuen.jp/>



かいらくえん

ガイドマップ

偕楽園の歩き方

～表門ルート 陰から陽～

斉昭の趣意を感じながら、「陰」から「陽」の世界への変化を楽しむことができる表門から入るルート(→)がおすすめです。

表門から一の木戸を抜けると、孟宗竹林、大杉森、クマザサが茂る幽遠閑寂な「陰」の世界が広がります。散策路を崖下の方へ下りると清冽な吐玉泉があります。

好文亭に至り、三階の楽寿楼に上ると、梅林や広場、千波湖が一望できる「陽」の世界が広がります。そして、芝前門を抜けると梅林、見晴広場へ続きます。



③吐玉泉



④好文亭

斉昭自らが設計したもので、各所に創意工夫と洒脱さを感じさせます。斉昭は、ここに文人墨客や家臣、領内の人々を集めて詩歌や慰安会を催しました。



①表門

偕楽園の正門に相当する門で、松煙で塗られているため、黒門ともいわれています。



②孟宗竹林



※吐玉泉料金所、南門料金所は、「水戸の梅まつり」期間中のみ開設。